

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第186号 2023年1月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

1月号
2023



ベテルギウス玄関
1月4日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催
2022「第15回やまと国際アートフェスタ」
入賞作品を毎月掲載しています。

今回のテーマ ~平和・いま私にできること~
インターナショナル賞 安藤美喜さん
福田小学校6年生(ベトナム)

タイトル:「世界のみんな 友達」
メッセージ:「まさか選ばれるとは思っていませんでした。けれど、いろいろな子どもたちを描けなかったため、次は目の色や髪の色、かみの毛などがそれぞれちがう子を描きたいです。」

「やまと国際アートフェスタ」は
「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で毎年催されています。

令和5年度 協働事業等提案 事前相談 受付中

☆市民等と市が協力して事業を実施し、社会に貢献する「協働事業」について、4月に「協働事業提案」を募集します。現在、この提案の事前相談を受け付けています。

相談期間: 令和5年3月11日(土)まで
(日曜日、毎月第3月曜日を除く)

対象となる事業: 社会に貢献する非営利の事業
相談申し込み: 市民活動センター (046-260-2586)



今年も共育(ともいっく)です
一緒に市民活動をし
盛り上げましょう
大和市民活動センター
拠点やまと 会長
望月則男

ふ え き り ゆ う こ う

不易流行 (Fの初夢)

いつもの正月明けに、ジャネット・リンに出会ったあの年

昭和47(1972)年の正月をFは思い出した。大正13年生まれだったFの母は、大正、昭和、平成、令和と4年号を生きたが、そうなるともう西暦でない時の経過を把握できない。えーと今年(2023年)だから昭和98年?

Fはこのとき中学2年生だったが、そのときから今年まで、大晦日に起きていて、そのまま寝ずに初詣に行ったことなど一度もない。寒くてそんな夜中に外出したくない。もっとも当時は、家の中でも臭う石油ストーブがあるだけで、夜は深々と冷えた記憶がある。



紅白歌合戦を観て寝る。あ、一度だけ定年退職後に、正月2日に出勤することがあり、そのときだけ、寝ずに地元の神社にお詣りして、甘酒飲んで帰って来て、午前2時ごろに就寝したことはある。

取り敢えず、正月だけでなく、我が家の冬は寒かった。豆炭あんかだったし、父が白米大好き人間だったので、文化釜(今知ってる人いるかなあ)で炊いたご飯を風呂敷に包んで、押し入れの布団の間にしまわれていた。掘りごたつもないので、電気こたつは隙間風が入って暖かくなかった。

元旦の朝、起きるのはいつも9時頃かなあ。そのころ箱根駅伝の中継があったかどうかは記憶にない。なぜかラグビーを見るのが好きになり、1月15日に近鉄vs早稲田の日本選手権をテレビで見ていた記憶はあるが、寒いのに表でよくやるなあと思っていた。

母が台所で雑煮の準備をしているとき、「いつまで寝てんだよ」と声が掛かった。「お餅いくつ食べるの」「五つ」と答えるのが父と僕だった。妹は?記憶にない。のしもちはいつも5枚、お米屋さんに注文する家だったので、正月15日まではお餅はあった。緑や黄色いものが生えて。それも水餅にして食べたなあ。でもお餅はごちそうで、雑煮の他に、醤油にバターを溶かして、チーズ、ハムを載せて海苔を巻いて食べるのが最高のごちそうでした。



午前11時頃に配達される年賀状が来るのが楽しみだった。想いを寄せていたあの子からの年賀状はあるか

しらと。Fの父は大工だったので、正月は15日まで寝正月だった。その間収入はないので、母はいつも機嫌が悪かった。今思えば父は肉体労働者だから、正月くらい食べて寝ていたいよね。その父の気持ちをFは晩年よくわかるようになった。

それで、なぜ、昭和47(1972)年を思い出したかというと、この年は、札幌オリンピック、トワエモアの虹と雪のパラードが鮮明に記憶に残る年で、Fはジャネット・リンに恋したのです。Fは英語でジャネット・リンにファンレターを書いた。そしたら、その年の夏休みに彼女から「love and peace」と手書き文字が添えられた写真に自筆のサインが入ったポストカードが届いた。Fが天にも昇る気持ちだったのは言うまでもなく、2学期にビニール製の下敷きに、ジャネットの写真を入れて、そのカードも入れて、中学校に持って行っていた。同級生から「どうしたんだよ。ほんとにかよ」って囲まれて、いきさつを話した記憶がくすかに残っていた。



Janet Lynn
札幌オリンピック
フィギュアスケート
女子シングル
銅メダリスト

ということで、今年とはきめくことが多く、平和な1年になりますように!!

(文責:船越 英一 イラスト:望月 則男)

12月の展示コーナー

12/17~28



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

子ども・青少年課
2022年8月7日から9日まで、大和市内の小中学生が岩手県陸前高田市を訪れ、体験した活動についてまとめたものを掲示しました。



市民活動団体交流まつり

カッコフェスタ 2022年12月18日(日) 「ベテルギウスまつり」と3年ぶりに同時開催



やまもり☆ホットスクランブル
大和市民活動センターだより

『やまとっこ☆みつけた』



第 414 回 12/6 (火) 「やまと国際オペラ協会」
会長 長谷部 浩士さん
指揮者 福島 章恭さん (大阪フィルハーモニー合唱団)



第 415 回 12/17 (火) 「NPO 法人 ブラービ」
代表 雨宮 正樹さん 理事 富松 万里子さん



やまと国際オペラ協会は「シリウスで本格的なオペラを上演すること」を目指して 2015 年に設立され、現在 70 名の合唱会員の他、オーケストラ会員、ソリスト会員、ステージクリエイター会員の総勢 120 名余りの会員が所属しています。今年度の夏・冬公演を経ていよいよ 2023 年に待望の歌劇「ドン・カルロ」が上演されます。長引くコロナ禍、戦争といった暗い世相に平和の祈りを込め、上質なオペラを届けるべく準備を進めています。



次の出演

416 回 1/17 (火) 「ライアーのおとまたまぼこ」
417 回 1/31 (火) 「がくいきの会」

「すべての人に良い音楽が届いていますか？」を合言葉に老人ホームや教育、福祉施設など様々な会場にプロの音楽家を派遣して音楽を届ける活動をしています。長引くコロナ禍により訪問コンサートの機会が減った中でも「自分たちの活動を知って欲しい」という思いから 12/28 (水) シリウスにて「ブラービまつり」を開催します。コロナ収束が見えた暁には大和市内をはじめ近郊の市訪問コンサートを開催して「すべての人に良い音楽を届けたい」と熱い想いを語りました。



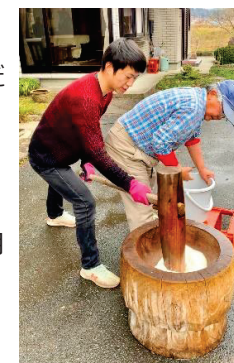
FM やまと 77.7MHz 第 1.3.5(火)
生放送 9:00 ~ 10:00
同日再放送 15:00~

TSUBASA's トーク 第 15 回 「自然薯と椎茸の収穫を通じて」

① 賑やかな年末年始

岩手県の南端、一関市で初めて年越しをしました。「正月は家族で過ごすものだろうし、今年の正月は一人寂しいものになるかな」と思っていたのですが、餅つきに呼ばれたり、自宅で新年会を開いてもらったりと、賑やかな年末年始になりました。

年末には農作業の手伝いもあり、12月24日に菌床椎茸の収穫、25日に自然薯の収穫に行きました。どちらも初夏に作業を手伝った活動先だったので、作物の育ち具合を楽しみに訪れました。



餅つき

③ 個性豊かな椎茸たち

収穫に訪れた菌床椎茸のハウス内は、温かくジメジメしていて、濡れた樹木のような菌床特有の香りがしました。

退職後に農家を始めたというご夫婦から 6 月に Instagram で依頼を受け、菌床をハウスに運び込む作業をお手伝いしたことが始まりでした。その後、ハウス内の温度や湿度などを管理されてきたそうです。

椎茸の収穫は初体験だったので、ご夫婦にアドバイスをもらいながら作業をしました。椎茸の模様や形、表面の毛の量は様々で、個性豊かな椎茸たちについて「この椎茸かわいいですね」と言い合いながら収穫したのが面白かったです。



椎茸ハウスにて

椎茸には「根」を想像より強く張っているものも多く、菌床から外した椎茸を隣の菌床にぶつけて傷をつけないように慎重になりました。

② 1m 以上に伸びた自然薯

6 月、市役所の紹介で就農 2 年目の農家さんを訪ね、種芋植えを手伝った自然薯。夏の日差しで汗まみれになりながら、砂を入れたパイプを畑に埋め込み、土を被せた後、パイプ内で育つように 10cm 弱の種芋を植えました。

年末、掘り出した自然薯には 1m を超えるものもありました。持ちあげた時、腕に力が入るほどの重さや、表面の白さに驚いたのを覚えています。クワで掘り出す時、自然薯を傷つけるのが怖く、掘らなくていい離れた場所ばかり掘ってしまいました。

休憩時間に、収穫された自然薯が並んだハウスで、農家さんから「翼さんはおばあちゃん達に可愛がられて、もっと美味しいもの食べているかもしれないけど」と言われつつ、土地の野菜の入った美味しいお雑煮をいただきました。外の作業で冷えた体が温まり、元気が湧いてくる感触がありました。



大きい自然薯

④ 地道な農作業の先にある収穫の喜び

1 年間のボランティア活動だからこそ、農業の一通りの流れや、収穫の喜びを体感できているのだと思っています。自然薯や椎茸の栽培には、毎日のように手間がかかり、ボランティアを始める前まで見聞きしていた収穫の場面は全体のほんの一部だと知りました。

また、地道な農作業も多い中、農家さんたちは物事を長続きさせる方法を知っているように感じました。休憩時間に旬のものを皆で食べたり、単調な作業を雑談しながら乗り越えたりする様子を見てきて、長続きしそうな働き方だと思っています。



椎茸仕分け中に

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 186 号 発行日: 2023 年 1 月 10 日

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12 月 29 日~1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

発行:大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyoudounokyoten.com/

子どもたちの歓声に館内湧く!!

カッコフェスタ 37本の活動風景の動画をスクリーン上映。10団体のPRチラシを配架しました。スタンプラリー参加イベント**3D地球儀で行ってみよう!**では、ベテルギウスから出発して、子どもたちは、ウクライナ、アフガニスタン、アルゼンチン、クロアチア、パリといった世界 24 の国、6 都市を巡りました。

ベテルギウスまつり ベテルギウス本館、北館、ミニバス広場を舞台に、大和市民活動センターのほか、青少年センター、国際化協会、起業家支援スペース Rigel、シルバー人材センター、スポーツ・よか・みどり財団、大和・綾瀬更生保護サポートセンターの各団体が共同で企画した「ベテルギウスまつり」が開催。強い雨も朝方があり、寒風強くも好天に恵まれ、10時から13時までの短い時間でしたが、スタンプラリーに参加する、多くの子どもたちで賑わいました。



パフォーマンス団体は、映像で参加

利用団体から動画を募集しました

スタンプラリーの参加者に活動の説明

Rigelのネイルアートは、特別料金で子どもたちに人気でした

カーリングではありません。カローリング

国際化協会で、子どもたちがチャレンジしたリストバンドづくり

人生の先輩と子どもたちがパソコンを通して交流!!

リングにボールは入った?

多くの青少年指導員さんが、スタンプラリーにかかわりました